

令和5年7月18日

各位

会社名 燦キャピタルマネージメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 前田 健晴
(コード番号：東証スタンダード2134)
問合せ先 取締役 管理本部 総務部長 増田 智
(TEL. 03-6452-9626)
U R L <https://sun-capitalmanagement.co.jp>

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、令和5年6月30日付で、近畿財務局に提出いたしました2023年3月期の内部統制報告書に、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社グループは、2023年3月期の監査人の監査において、監査人より以下の内部統制の不備の指摘を受けました。

①複数の投資先に対する貸付金や未収入金に関して、投資先からの決算書類や事業計画書などの与信管理の資料の入手が未了のものがあり債権管理が不十分であった。また、一部債権の保全が十分でないものがあつた。その結果、与信管理及びリスク管理が社内規定に則り適切に行われていなかった。

②投資先に対する債権管理について、取締役相互間で情報の共有と監督が不足していた。

なお、上述の投資先の貸付金や未収入金については、2023年3月期の連結決算では、貸倒引当金の計上を行っており、会計上の処理は手当していました。

2. 当連結会計年度末日までに是正できなかった理由

当連結会計年度の末日までに是正できなかった理由は、管理担当者の専門知識の欠如、債権管理に対する認識の甘さ、取締役相互間の情報共有の欠如、取締役相互間の牽制の不十分さなどにより、当連結会計年度の末日時点においても当該問題は解決に至っていないことに起因いたします。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

(1) 与信管理及びリスク管理不足の改善について

投資については、与信管理体制及びリスク管理体制を強化するよう改善します。

特に、投資先からの決算書類や事業計画書などの資料については、入手の徹底を図り、与信管理

の改善を図ります。

また、投資先の状況を見極め、担保物の入手を図るなど、債権の保全を十分に行うようにします。

(2) 取締役会相互間ならびに社内会議体との連携・相互監督の強化

取締役会相互間で容易に連絡できるような仕組みづくり、かつ取締役会と業務執行取締役と部門長で構成される会議との連携・相互監督を強化することで、取締役全員が同じ情報を持ち、公平かつ公正に審議が行なえる体制に改善してまいります。

4. 連結財務諸表及び財務諸表に与える影響

上記開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は、すべて連結財務諸表等に反映しております。

5. 連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上